

## 厚生病院のトピックス

平成24年10月18日

厚 生 病 院

## 1 黒字決算

(百万円)

	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度
医業収益	4, 2 4 4	4, 5 0 1	5, 1 3 2	5, 7 3 1	6, 0 6 3
医業費用	4, 9 6 3	5, 3 0 0	5, 7 1 4	6, 0 1 3	6, 3 8 4
医業収益	△ 7 1 9	△ 7 9 9	△ 5 8 2	△ 2 8 2	△ 3 2 1
経常収益	△ 3 7 6	△ 5 0 7	△ 1 1 4	3 2	7 9
純 損 益	△ 6 6 6	△ 5 4 7	△ 2 9 9	1 0 1	6 8

- ・ 2年連続の黒字決算
- ・ 要因は、稼働の向上、新規施設基準(7対1看護)の取得・報酬改定による収益増

	21年度	22年度	23年度
1日あたり入院患者数	2 4 6 人	2 5 4 人	2 6 7 人
1日あたり外来患者数	5 3 0 人	5 3 8 人	5 6 2 人
入院診療単価	40, 586円	44, 473円	44, 348円
外来診療単価	10, 655円	11, 442円	11, 473円

※H22.6から7対1入院基本料を算定

	22年度	23年度
救急車搬入患者数	1, 871人(厚病) / 4, 269人(中部全体)	→1, 994人 / 4, 380人

## 2 総合入院体制加算の算定開始

逆紹介割合が3月連続して40%を超えたことから、本年10月より総合入院体制加算の算定を開始する(1年間で約6千万円の収入増)。今後は、地域医療支援病院の指定を目標に一層の病病・病診連携に努める。

(参考：施設基準の主な要件)

- ・ 内科、精神科、小児科、外科、整形外科、脳神経外科及び産婦人科を標榜し、これらの入院医療を提供していること。  
(精神科については24時間対応できる体制があればよい)
- ・ 病院の初診に係る選定療養費を徴収していること。
- ・ 逆紹介割合が4割以上であること。
- ・ 全身麻酔が年800例以上あること。
- ・ 画像診断、検査、調剤の24時間実施体制が確保されていること。

### 3 診療機能の強化

#### (1) 移動型X線テレビ装置

血管撮影も可能な移動型X線テレビ装置を手術室に整備し、診断機能の向上に併せ、血管造影撮影室のバックアップ機能を確保(H24.5)

#### (2) X線テレビ装置の更新

最新型の装置に更新し、透視検査・治療の機能を向上(H24.9)

#### (3) 放射線治療装置の更新

今年末に放射線治療装置の新建屋工事が完了し、来年4月より新装置を稼働の予定(高出力タイプ(4Mev→10Mev)の装置により、治療効果向上)。併せて、治療計画用CTを整備することでCTの2台体制を整備。

### 4 市民公開講座の開催

地域の方々にがんをはじめとした疾患の予防及び早期発見、治療に関する情報提供を目的として市民公開講座を開催しており、今年度は次の4回を予定。

(今年度の開催状況)

#### (1) 第1回(6月24日(日))

テーマ 「女性のがん」 ※当院産婦人科、外科の医師3名が講演

参加者 約150名

#### (2) 第2回(9月9日(日))

テーマ 「肺がんのはなし」

※当院呼吸器外科、外科の医師2名の講演に加えて肺がんが治癒した患者、治療中の患者2名の体験談を報告

参加者 約120名

#### (3) 第3回(11月25日(日))

テーマ 「乳がんってどんな病気？」

※鳥取大学医学部の乳腺専門医のほか、10月に赴任した当院乳腺専門医による講演を予定

#### (4) 第4回(平成25年1月27日(日))

テーマ 「生活習慣病」

### 5 倉吉市病児保育施設の開園

倉吉市の病児保育施設が厚生病院内に開設された。

施設名称 きらきら園

開園日 7月5日(木)

開設場所 厚生病院地域医療連携棟1階の一部(44m<sup>2</sup>)

※厚生病院が倉吉市に対して行政財産の使用を許可

運営主体 倉吉市(市が社会福祉法人敬仁会に運営を委託)

定員 4人